

事業所名

ジケイサポートデイ

支援プログラム

作成日

R7 年

3 月

26 日

法人（事業所）理念		利用者が学校を卒業後、自立（自律）して、自分らしく社会生活を送っていくための準備をサポートします。						
支援方針		● 5領域を踏まえながら、一人一人の状況や将来設計に合わせて、さまざまなプログラムに取り組み、どこに行っても、何をしても、自分らしく生きるための土台を作る支援をします。 ● 利用者が、自己選択・自己決定、チャレンジができるように支援します。						
営業時間		10 時	分から	17 時	30 分まで	送迎実施の有無	あり	なし
		支 援 内 容						
本人支援	自分を知るプログラム （1.健康・生活 2.運動・感覚 3.認知・行動5.人間関係・社会性）	○毎日の自分を知るために、チェックシートに書き込む。自らが体調管理（検温、日常の健康観察）を行い、その日の目標などを書き込む等の活動を行う。（5領域の1） ○基本的生活スキル（挨拶、生活リズムの安定、タイムテーブルや活動内容の掲示による視覚化、整理整頓の支援）の獲得を目指す。（5領域の1，3，5） ○コアタイムでの単身体幹トレーニング（体力の維持・向上）や集団活動を行う。（5領域の2，3，5）						
	ワーキングプログラム （2.運動・感覚 3.認知・行動 4.言語・コミュニケーション 5.人間関係・社会性）	○読み・書き・計算、試験勉強、パソコントレーニング、職業訓練など一人ひとりのニーズや特性に合わせて取り組んでいく。（5領域の2，3，4，5） ○課題の改善・克服をめざすことを目標に、視空間認知能力を高め、動体視力や判断力などの身体能力の向上を目指す活動を行う。（5領域の2，3） ○集団活動では、環境に配慮し、特性に応じた利用者への配慮を行う。（5領域の2，3） ○得意なことのできる能力発揮を目指す。（5領域の2，3，4，5） ○パズル等で数や文字を並べたり、逆に並べたり、数や文字をミックスして行うゲームや、見る力・視覚の力を育むことで学力の向上、運動能力の向上、心の安定を目指す。（5領域の2，3，4，5）						
	コミュニケーションプログラム （1.健康・生活 4.言語・コミュニケーション 5.人間関係・社会性）	○共通な話をするテーマなどを設定して、他の利用者やスタッフとの交流の場を提供する。そのことで、自分の考えを伝えたり、他者の考えを聞いたりといった、人と関わり大切さに気づける活動を行う。また、付加価値として、相手に対する気配りを身につけることが期待できる。（5領域の1，4，5） ○美術や音楽などの共同での芸術活動を通して、自己表現の向上や創造力を育てていけるような活動を行う。（5領域の1，4，5） ○共同活動を行うことで人間関係を身に付け、適切な行動パターンを身につけていく。（5領域の4，5） ○社会資源の活用（公共施設等での活動、社会見学等）や職業体験を行っていく。（5領域の4，5）						
	チャレンジプログラム （1.健康・生活 2.運動・感覚 3.認知・行動 4.言語・コミュニケーション 5.人間関係・社会性）	○本人の特性を理解し、スタッフ等の打ち合わせを重ねて、本人が安心して挑戦できる環境を提供する。失敗を恐れず挑戦できる姿勢を身につける。例えば、進路や就職の職業選択につながるように、将来を意識したキャリア教育の実践を行っていく。（5領域の1，2，3，4，5） ○本人の特性の生かし方として、得意であることのできる能力発揮を見せられるプログラムを行っていく。（5領域の1，2，3，4，5）						
家族支援		○連絡帳やLINEアプリを利用し連絡、随時相談を行う。 ○保護者面談の実施（オンラインを利用することもある）				移行支援	○不登校児の受け入れと学校スタッフとの情報共有 ○進学・就職・就労に向けてのサポートと情報共有	
地域支援・地域連携		○サービス担当者会議等を通じた関係機関との連携 ○他事業所等との交流 ○滋慶学園グループのノウハウを生かす。				職員の質の向上	○各種研修受講や勉強会への参加 ○ケース会議の定期開催や終礼での情報共有・意見交換	
主な行事等		○学校休校日・・・外出プログラム／作品制作／ゲーム大会／職業体験プログラム等						